

2021年度「JUSTICE 提案書情報のデータ共有に関する実証実験」について

1. 2021年度活動計画

(1) タイトルリストの項目整備

タイトルリスト設定手順書をもとに、出版社提供のタイトルリストで、項目整備が必要なパッケージを洗い出し、JUSTICE 事務局経由で出版社へタイトルリストの項目整備を依頼する。

(2) タイトルリスト設定手順書の拡充

2020年度作成対象外とした JUSTICE 提案パッケージに対し、手順書を作成する

(3) 運用開始に向けた準備

本実証実験の成果を踏まえ、JUSTICE 提案書情報(タイトルリストおよびライセンス)のデータ共有について、国立情報学研究所を中心に2022年度の運用開始に向けた準備を進める。

2. 2021年度活動内容

2019年度に JUSTICE 会員館への公募で決定した7機関に引き続き協力を依頼し、2021年度は以下の機関から協力を得、実証実験を行っている。

▶ 東京大学、千葉大学、大阪大学、明治大学、安田女子大学

A) データ共有サイトの検証 →活動計画(3)

データ共有サイトを限定公開し、利便性や説明の分かりやすさなどのフィードバックをする(2月中旬までに完了予定)。

B) ライセンス情報の検証

ライセンス項目について、運用実態との比較を実施し、項目の不備や値の不備がないか検証する(2月中旬までに完了予定)。

C) タイトルリスト情報の検証 →活動計画(1)(2)

タイトルリスト、タイトルリストの差分、タイトルリストメンテナンスプレートについて、優先的に共有が必要なパッケージを洗い出す(2月中旬までに完了予定)。

2022年度以降、洗い出したものから順次、タイトルリストの項目整備や設定手順書の拡充・更新を行う予定である。

以上